



あの日の悔しさを、歓喜で塗り替えるための第一歩
隙のない攻守で勝利を飾れ!

Vitória

KASHIWA REYSOL WINNING GUIDE



VOL.
522

みんなて楽しいスタジアムをつくらう。
J1、J2、J3、全クラブ共通の観戦マナーです。

- No Bribes or Cans
ビン、カン等の持ち込み禁止
- No Fireworks, Smoke, Candles or Horns
花火、爆竹、焚火、ガスターンの持ち込み禁止
- No Throwing
フォームドヘモの投げ込み禁止
- No Jumping Down to the Field
フィールドへの飛び降り禁止
- No Violence
暴力行為の禁止

2026/27 J.LEAGUE
YAMAZAKI BISCUIT
LEVIN CUP
1ST ROUND - ROUND4



ガンバ大阪



9日間の中断期間が明け、ルヴァンカップから再始動する。この期間は連戦の疲労を回復させ、コンディションを整えると同時に、改めて強度の高いトレーニングに取り組んできた。

その中でチームが重点的に取り組んだのが守備面の改善だ。ボールを握ることで相手の攻撃機会を減らしながらも、イージーなボールロストからのショートカウンターを受け、失点するケースが続いている。古賀太陽は「ゲームを通して見れば、やられた回数は本当に少ない」

と振り返った上で、攻撃時のリスク管理や切り替え、不必要なボールロストを減らすことの重要性を挙げる。攻撃で相手を押し込みながら、わずかな隙も与えない。若原智哉も「隙を無くすことができれば、完全に自分たちのゲームになる」と語っており、今後レイソルがタイトルを勝ち取るためにも失点の減少は不可欠な要素だ。

一方、ガンバ大阪は、リーグ戦では苦しい戦いが続いているものの、前節のヴィッセル神戸戦では好ゲームを見せた。

前線には個の能力の高い選手が揃い、縦に速い攻撃を武器とする。中断期間に取り組んできた成果を発揮し、相手の狙いを封じることが勝利への道筋になる。

そして、レイソルにとってルヴァンカップには特別な思いがある。昨シーズンは決勝まで勝ち進みながら、あと一步のところでタイトルを逃した。「今シーズンこそ優勝を勝ち取りたい」と古賀は言う。あの日の悔しさを歓喜に変えるために。再び始まるタイトルへの道、その第一歩を力強く踏み出す。

クラブ応援プランで、
レイソルの強化に協力しよう!



加入はこちらから▲



2026/27明治安田Jリーグ全試合を、
DAZNが配信。

DAZN.COM

ハナメグミの
お絵かき
日立台
~2026/27~

来ました〜ルヴァンカップです〜!
去年のあの悔しさを晴らすには、とにかく全部勝つしかない!!今のレイソルならできる!ゴーゴー!



柏レイソル ガンバ大阪KASHIWA
Reysol

[監督] リカルド・ロドリゲス

1	GK	猿田 遥己	田
2	DF	三丸 拓	
3	DF	麻田 将吾	
4	DF	古賀 太陽	田
5	MF	遠藤 溪太	
6	MF	山田 雄士	田
8	MF	小泉 佳穂	
9	FW	細谷 真大	田
11	MF	渡井 理己	
13	DF	犬飼 智也	
14	MF	大久保 智明	
15	FW	藤尾 翔太	
16	MF	木本 康也	
17	MF	手塚 康平	田
18	FW	垣田 裕暉	
19	MF	仲間 隼斗	田
20	MF	瀬川 祐輔	
21	MF	小西 雄大	
23	MF	長南 開史	(2種)
24	MF	久保 藤次郎	
25	GK	小島 亨介	
26	DF	杉岡 大暉	
27	MF	熊坂 光希	田
28	MF	戸嶋 祥郎	
29	GK	永井 堅梧	
30	MF	古谷 柊介	
32	DF	山之内 佑成	
33	MF	岩永 創太	
39	MF	中川 敦瑛	
40	MF	原川 力	
42	DF	原田 亘	
43	MF	加茂 結斗	(2種)
44	MF	弓場 堅真	
45	DF	佐藤 桜久	(2種)
46	GK	松本 健太	田
51	FW	満田 誠	
56	DF	常藤 奏	
64	MF	五十嵐 陵	(2種)
77	GK	若原 智哉	
87	MF	山内 日向汰	
88	DF	馬場 晴也	
※出場停止:なし			

STAFF

ヘッドコーチ/栗澤 僚一
コーチ/大谷 秀和、染谷 悠太
GKコーチ/井上 敬太
フィジカルコーチ/松原 直哉
フィットネスコーチ/長谷 篤

2026.10.03 SAT/三協フロンテア柏スタジアム

19:03 KICK OFF

予想スターティングメンバー



Stop! THE KEY PLAYER

ガンバ大阪のトップ下を務め、強靱なフィジカルと推進力で攻撃を牽引する。前節のヴィッセル神戸戦でもカウンターの起点となり、好機を生み出した。自陣でのボールロストからの失点が目立つレイソルにとっては、同じミスの繰り返しは致命傷となる。また、今シーズンのリーグ戦で決めた2得点はいずれもゴール前の混戦を制して決めたもの。迫力を持ってゴール前に入ってくるあって、守備陣はタイトなマークで自由を与えてはならない。

ガンバ大阪
11 FW イッサム ジェバリ

GAMBA OSAKA

[監督] 明神 智和

1	GK	東口 順昭	
2	DF	福岡 将太	
3	DF	半田 陸	
4	DF	中谷 進之介	
5	DF	三浦 弦太	
7	FW	宇佐美 貴史	田
8	FW	食野 亮太郎	田
9	FW	林 大地	田
10	MF	倉田 秋	田
11	FW	イッサム ジェバリ	
13	MF	安部 柊斗	
14	FW	植中 朝日	
15	DF	岸本 武流	
16	MF	鈴木 徳真	
17	FW	山下 諒也	
18	GK	荒木 琉偉	田
19	DF	池谷 銀次郎	
20	MF	イーライ アダムス	
21	DF	初瀬 亮	田
22	GK	一森 純	
23	FW	デニス ヒュメット	
24	FW	小柏 剛	
25	DF	アリ カマラ	
27	MF	美藤 倫	
28	MF	藤原 奏哉	
31	GK	張 奧林	田
32	MF	吉原 優輝	田
33	DF	小澤 晴樹	
34	DF	横井 佑弥 (2種)	田
35	MF	當野 泰生	田
37	FW	中積 爲	田
39	MF	角 昂志郎	
41	FW	土信田 悠生	
43	GK	野畑 優真 (2種)	
44	MF	奥抜 侃志	
45	DF	丸岡 海太 (2種)	
46	MF	村田 康輔 (2種)	
47	DF	中野 伸哉	
48	MF	藤本 祥輝 (2種)	
60	MF	岡本 新大 (2種)	田
67	DF	佐々木 翔悟	
78	MF	ファンベ	
97	FW	ウェルトン	
※出場停止:なし			

STAFF

ヘッドコーチ/遠藤 保仁
コーチ/内山 篤、町中 大輔、上村 捷太
GKコーチ/吉田 宗弘、藤ヶ谷 陽介
フィジカルコーチ/吉道 公一朗

KASHIWA REYSOL 2026/27 GAME SCHEDULE

明治安田J1リーグ

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
1	8月8日(土)	19:00	三協F柏	水戸ホーリーホック	○2-1
2	8月14日(金)	19:00	MUFG国立	東京ヴェルディ	○3-1
3	8月21日(金)	19:00	三協F柏	V・ファーレン長崎	○4-2
4	8月29日(土)	18:30	アイスタ	清水エスパルス	○1-0
5	9月2日(水)	19:00	ハナサカ	セレッソ大阪	●0-2
6	9月6日(日)	19:00	三協F柏	横浜F・マリノス	●0-2
7	9月11日(金)	19:00	サンガス	京都サンガF.C.	○3-2
8	9月20日(日)	17:00	Gスタ	FC町田ゼルビア	○4-2
9	10月9日(金)	19:00	三協F柏	ヴィッセル神戸	—
10	10月17日(土)	19:00	三協F柏	名古屋グランパス	—
11	10月21日(水)	19:00	味スタ	FC東京	—
12	10月24日(土)	15:00	メルスタ	鹿島アントラーズ	—
13	10月31日(土)	16:00	三協F柏	浦和レッズ	—
14	11月7日(土)	16:00	三協F柏	川崎フロンターレ	—
15	11月20日(金)	19:00	三協F柏	ジェフユナイテッド千葉	—
17	11月28日(土)	16:00	三協F柏	サンフレッチェ広島	—
18	12月6日(日)	16:00	三協F柏	アビスパ福岡	—
19	12月13日(日)	14:00	JFEス	ファジアーノ岡山	—
16	12月16日(水)	19:00	パナスタ	ガンバ大阪	—

※2027年開催分の詳細は、12月上旬に発表予定です。※今後、変更になる可能性があります。追加情報につきましては随時発表いたします。※開催日が未定となっている試合について、土日開催の節は金曜日に開催する可能性があります。
※1:2/24(水)に開催する可能性があります。※2:3/3(水)もしくは4/7(水)に開催する可能性があります。※3:柏またはG大阪がACL Elite準々決勝進出の場合は4/1(水)もしくは4/7(水)に開催する可能性があります。※4:柏がACL Elite準々決勝進出の場合は5/19(水)に開催する可能性があります。※5:柏または神戸がACL Elite準々決勝進出の場合は5/5(水-祝)もしくは5/26(水)に開催する可能性があります。※6:ルヴァンカップ決勝進出クラブの試合は4/21(水)、5/12(水)、5/19(水)、6/2(水)のいずれかに開催する可能性があります。

2026/27 リーグ

ヤマザキビスケット

ルヴァンカップ

◎1stラウンド

第1戦

第2戦

第3戦

第4戦

第5戦

第6戦

第7戦

第8戦

第9戦

第10戦

第11戦

第12戦

第13戦

第14戦

第15戦

第16戦

第17戦

第18戦

第19戦

第20戦

第21戦

第22戦

第23戦

第24戦

第25戦

第26戦

第27戦

第28戦

第29戦

第30戦

第31戦

第32戦

第33戦

第34戦

第35戦

第36戦

第37戦

第38戦

第39戦

第40戦

第41戦

第42戦

第43戦

第44戦

第45戦

第46戦

第47戦

第48戦

第49戦

第50戦

第51戦

第52戦

第53戦

第54戦

第55戦

第56戦

第57戦

第58戦

第59戦

第60戦

第61戦

第62戦

第63戦

第64戦

第65戦

第66戦

第67戦

第68戦

第69戦

第70戦

第71戦

第72戦

第73戦

第74戦

第75戦

第76戦

第77戦

第78戦

第79戦

第80戦

第81戦

第82戦

第83戦

第84戦

第85戦

第86戦

第87戦

第88戦

第89戦

第90戦

第91戦

第92戦

第93戦

第94戦

第95戦

第96戦

第97戦

第98戦

第99戦

第100戦

第101戦

第102戦

第103戦

第104戦

第105戦

第106戦

第107戦

第108戦

第109戦

第110戦

第111戦

第112戦

第113戦

第114戦

第115戦

第116戦

第117戦

第118戦

第119戦

第120戦

第121戦

第122戦

第123戦

第124戦

第125戦

第126戦

第127戦

第128戦

第129戦

第130戦

第131戦

第132戦

第133戦

第134戦

第135戦

第136戦

第137戦

第138戦

第139戦

第140戦

第141戦

第142戦

第143戦

第144戦

第145戦

第146戦

第147戦

第148戦

第149戦

第150戦

第151戦

第152戦

第153戦

第154戦

第155戦

第156戦

第157戦

第158戦

第159戦

第160戦

第161戦

第162戦

第163戦

第164戦

第165戦

第166戦

第167戦

第168戦

第169戦

第170戦

第171戦

第172戦

第173戦

第174戦

第175戦

第176戦

第177戦

第178戦

第179戦

第180戦

第181戦

第182戦

第183戦

第184戦

第185戦

第186戦

第187戦

第188戦

第189戦

第190戦

第191戦

第192戦

第193戦

第1



——中断期間中はどのような取り組みをされてきましたか？

「チーム全体の取り組みでいうと、まずは回復のところで、筋力アップを目的としたトレーニング、それから連戦でなかなかできなかった強度の高いトレーニングにもう一度取り組んできました。主に疲労を回復させながら、コンディションを整えることがメインになりました」

——小西選手にとっても、プロキャリアで初めて経験するタフなシーズンになります。

「連戦の一番の難しさは、強度の高いトレーニングができないこと。自分もACLに出るのは初めてで、アウェイの京都からそのまま韓国に行くというのは今まで経験したことがありませんでした。ヨーロッパの一流選手はこういう日程をこなしてもクオリティが下がらないので、タフな日程をこなすには、90分の中でいかに消耗せずに良いプレーをするかという効率性も必要だと感

じました」

——昨年の夏に小西選手が移籍してきたときにも、新たな環境への挑戦という話はされていました。

「柏で挑戦したいという気持ちがありましたし、この1年でのいろいろな経験ができました。僕がガンバ大阪のアカデミーにいたときは、トップチームがACLで戦っているのを見ていました。今、自分がそういう立場になって、同じ舞台で戦っているんだ、という思いもあります。僕は地元の徳島県でジュニアのサッカーチームに携わっているの

で、チームの子たちにすごいと思ってもらえたら嬉しいですし、レイソルアカデミーの選手たちからもトップチームに上がりたいと思ってもらえるように、頑張れたらと思います」

——そして今週はルヴァンカップのガンバ戦。小西選手が育ったチームとの対戦になります。特別な心境はありますか？

「育ててもらったクラブですし、去年レイソルに来る前、モンテディオ山形で最後の試合も天皇杯のガンバ戦でした。今のガンバには、同年年の食野亮太郎、1歳上の初瀬亮選手がいます。あとは鈴木徳真、岸本武流、福岡将太と、徳島ヴォルティス時代にリカルド監督のもとで一緒にプレーした選手も多いので、対戦を楽しみにしています」

——ガンバの印象はいかがですか？

「前線はすごく強力だと思いますし、縦の速さや最後のクオリティは警戒しなければいけないですね。今のJリーグでは結果が出ていませんが、クオリティの高い選手がたくさんいるので、ふわっと入ってしまったらやられてしまうと思います。ただ、こちらのホームですし、優位に試合を進めるためにも、圧力をかけ続けていきたいです」

——また、小西選手は、今年8月は出場機会が限られていました。調子を落としていたのでしょうか？

「かなりコンディションを落としてしまいました。プレーも良くなかったです。僕のサッカーのルーティンとして、体の

毎試合が決勝戦

ケアをして、練習のフィードバックをするという流れがあります。その精度が上がってきて、プレーの安定感も出てきたと思っていますが、暑さや、初めての夏開幕ということもあってかフィードバックがうまくいかず、コンディションを落としてしまいました。ただ、今は回復して、だいぶ状態は回復してきたので、これからさらに上げていきたいと思っています」

——最後にサポーターにメッセージをお願いします。

「ルヴァンカップには、去年の決勝で負けた悔しさを全員が持っています。僕自身も、初めて目の前でタイトルを奪われて、こんなに悔しいものかと感じました。リカルド監督が「タイトルを勝ち取るためには、毎試合が決勝戦だと思って戦わなければいけない」と話しています。今回の試合はホームでできるので、多くのサポーターの後押しを受けて、しっかり勝ち上がりたいと思います」

Focus

21MF Yūdai KONISHI

小西雄大

